

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 2年 2月 28日

事業所名 放課後等デイサービス からふるしーど

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	2	利用人数が多い場合には狭く感じる事がある。公園、体育館など外部施設を活用している。また、活動を分けやすいように、別途活動スペースを準備中。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	1	職員のプライベートな理由により、土曜日等に休暇を求めるなど、配置が難しい日は開所できないこともある。新年度から新体制を整え、児童の支援に携わる立場である責任や、組織であることを自覚したチーム作りを行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	物理的な意味におけるバリアフリーになっているが、利用児童の障がい特性も様々であり、危険や破損の恐れがある場合に関しては、児童により利用を制限したり、手の届かないところに保管するなどの制限がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	一部の職員にとどまっており、企業の一員として、児童発達に携わるチームの一員としての意識向上、責任と自覚を持つことが求められる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	0	職員・保護者による評価を毎年行い公表しているが、第三者による別途評価は行われていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1	研修の機会は確保しているが、さらに外部サービスを活用して指導員として、社会人としての資質向上を推進する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	定期的なミーティング、月間スケジュールの作成、個別支援計画のチャックダウン、具体的な現場職員の支援方法の考慮など、定期的な実行を指導している。そのヒントとなる行動の提示や、それを実行するための独自のツール提供、具体的ルールなどの策定、構造化や視覚支援、職員研修など、会社としてサポートを行っている。より期待する改善が行われるよう、児童の発達支援に携わる立場としての意識や姿勢（責任感、向上心など）、必要不可欠な知識を持つ職員を複数名採用。よりきめ細やかで具体的な支援体制を構築していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	1	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1	今年度からの新体制では、専門知識を持つ職員による個別対応を取り出しで行う予定にしている。新たな職員を組み込んだ組織再編により、上意下達でスムーズな伝達が行われるよう体制を整える。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	その日行われた支援に関して、全員が共有できる状態を整えている。また、一部職員は、各児童の支援に関して児発管に具体的に報告するなど、情報の集約をできている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	0	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	医療的ケアが必要な児童は受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	0	まだ卒業者がおらず、準備段階にはとどまっているものの、サービス担当者間の必要な情報提供は行えるように整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	地域の小学校に通う児童は、各学校で障がいのない児童たちと関わりを持っている。特別支援学校在籍の児童に関しては、必要に応じて検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	0	ペアレントトレーニングという名称ではないが、保護者各位からの相談などに応じる際、必要な情報や学問を解説するなど、サポートしている。今年度は保護者各位の希望を聞き、希望者には具体的なトレーニング機会を企画する。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	0	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	情報発信に関してはSNSを主に活用してきたが、伝わっていない場合を考慮して、今年度は紙媒体による会報を発行する。
	35	個人情報に十分注意しているか	2	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	今年度はイベントの開催を企画していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1	マニュアルは策定されており、職員の書棚に設置されている。各マニュアルの把握を周知している。保護者に対しては、周知が行き届いていない可能性がある。年に一度の避難訓練は行われているが、今後定期的なシミュレーションを行っていく。担当者の変更により、より適切な対応が期待される。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	職員研修の中に、虐待防止、身体拘束に関する情報を含めている。記録の徹底を周知している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	医師の指示書が発行されている食物アレルギーをもつ児童は在籍していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	0	